TABUCHI ELECTRIC

2017年3月期
第3四半期決算説明資料

2017年2月10日

田淵電機株式会社（証券コード：6624）

2017年3月期 第3四半期
業績の概要

Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

連結業績概要

TABUCHI ELECTRIC

国内太陽光発電市場の急激な悪化に伴い、大幅な減収・減益となった

単位：百万円

	2016年3月期 3Q累計	2017年3月期 3Q累計	増減	増減率
売上高	29,910	18,366	▲11,544	▲38.6%
営業利益	4,250	▲2,345	▲6,596	-
経常利益	4,255	▲2,346	▲6,601	-
親会社株主に帰属する当期純利益	2,999	▲3,261	▲6,261	-

Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

連結セグメント別業績概要

TABUCHI ELECTRIC

単位：百万円

	2016年3月期 3Q累計		2017年3月期 3Q累計		前年度比増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
電源機器	23,145	4,301	11,320	▲2,495	▲11,825	▲6,797
変成器	6,765	574	7,045	322	+280	▲251
調整額	-	▲624	-	▲172	-	+452
連結計	29,910	4,250	18,366	▲2,345	▲11,544	▲6,596

Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

連結セグメント別売上高概要

TABUCHI ELECTRIC

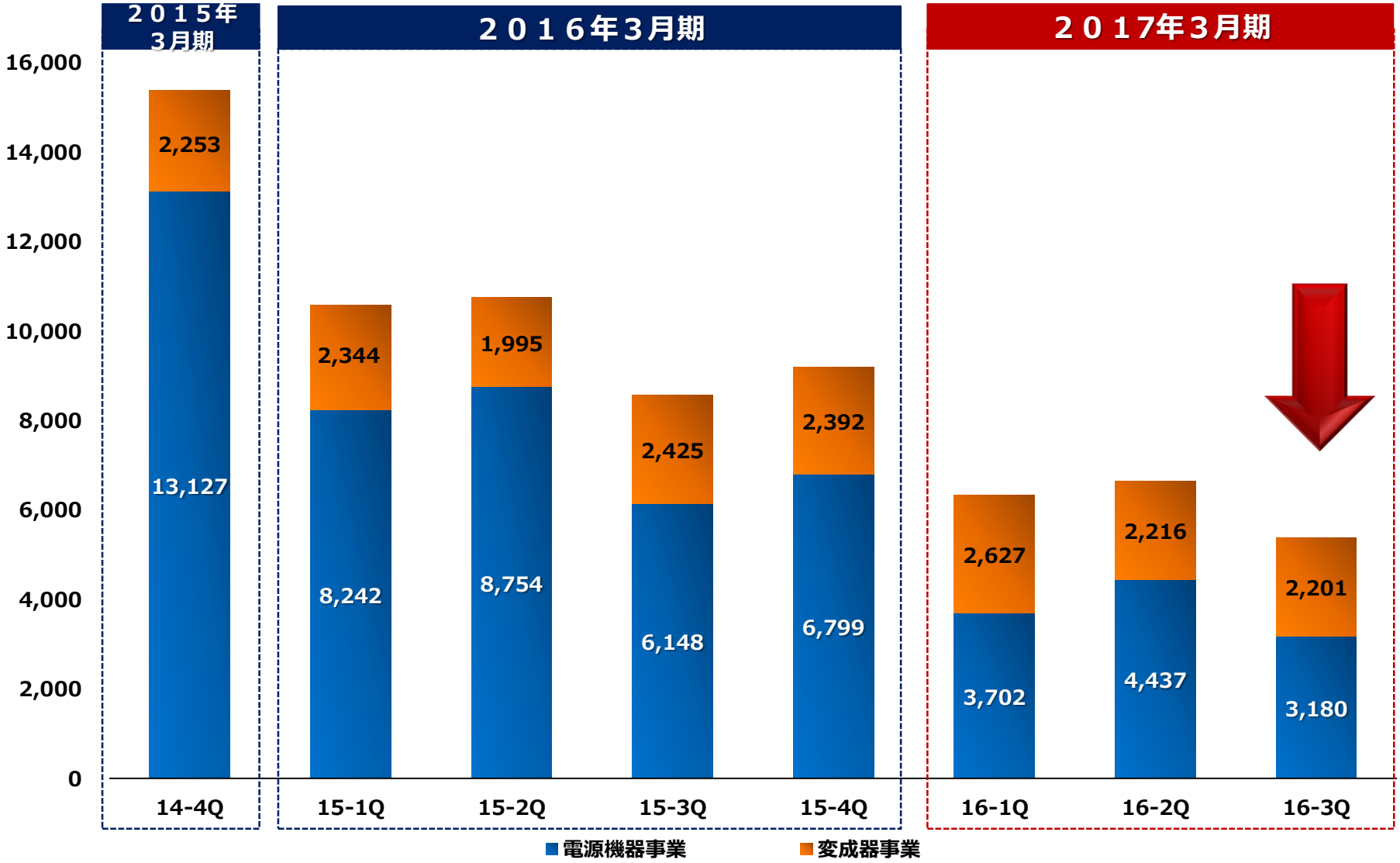
電源機器事業	変成器事業
前年同期比 ▲51.1%	前年同期比 +4.1%
➢ アミューズメント向け電源の新製品出荷を開始 ➢ 国内太陽光発電市場の縮小と単価下落影響が大きく、売上大幅減	➢ 前年下期のM&Aによる新規連結子会社による新分野への売上増 ➢ エアコン用リアクタは堅調に推移

Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

連結セグメント別売上高四半期推移

TABUCHI ELECTRIC

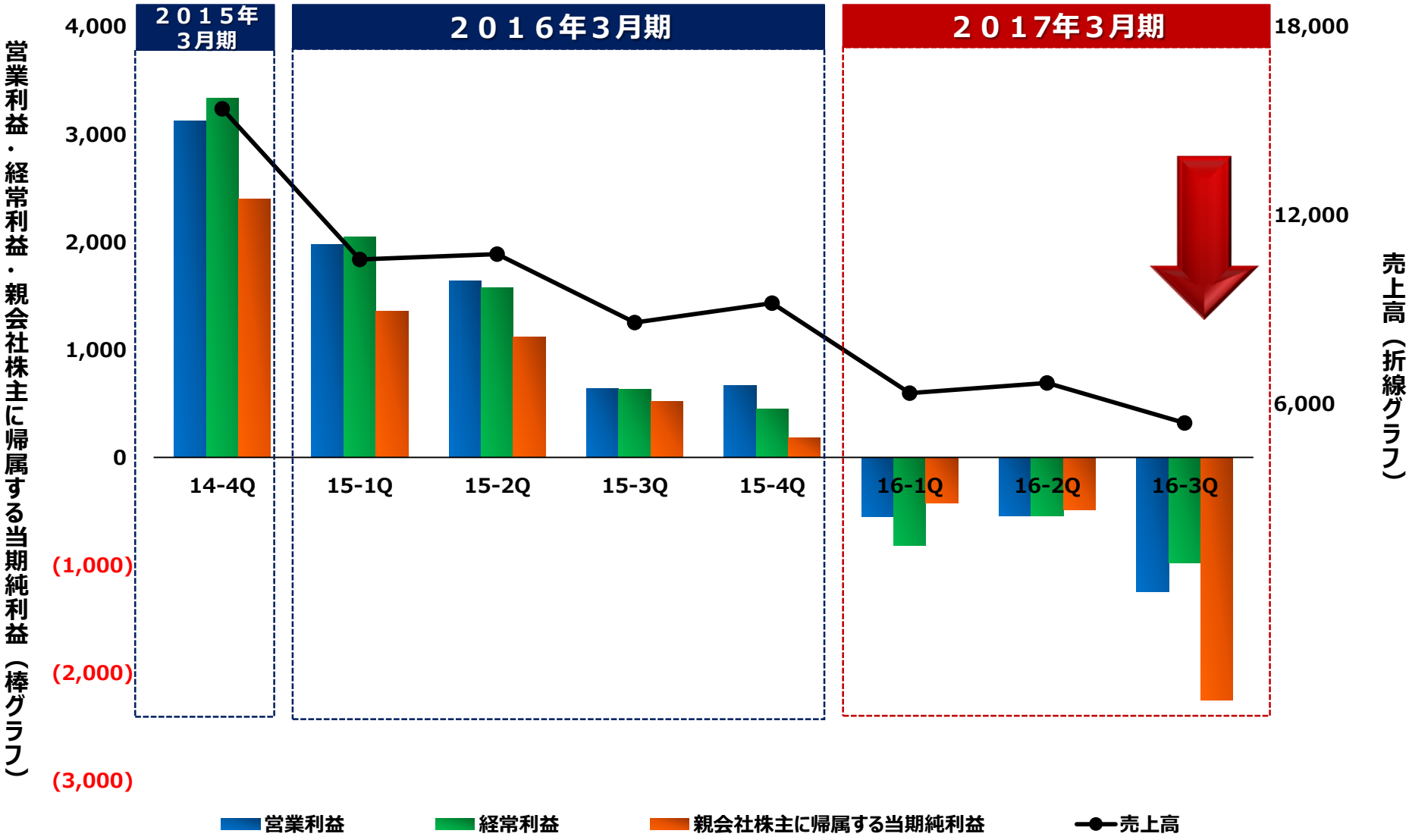
単位：百万円



Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

連結業績四半期推移

単位：百万円



Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

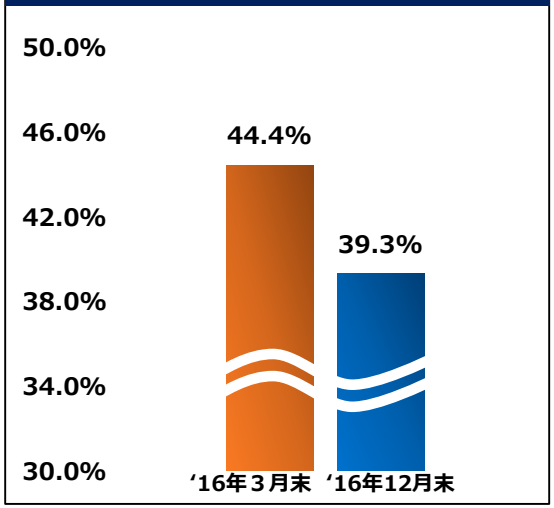
連結貸借対照表概要

TABUCHI ELECTRIC

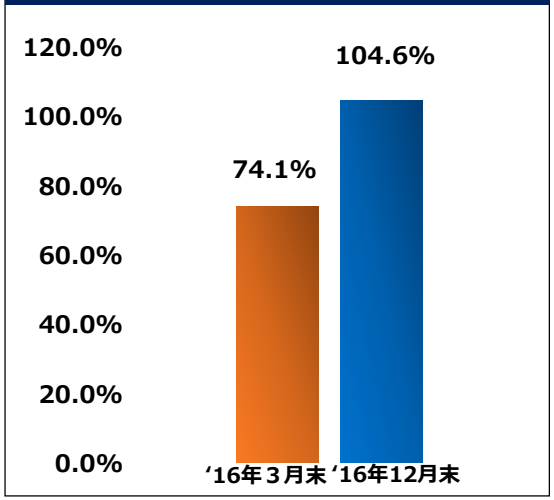
単位：百万円

	2016年3月末	2016年12月末		2016年3月末	2016年12月末
現預金	5,737	2,458	仕入債務	7,425	4,344
売上債権	6,882	4,938	短期有利子負債	2,938	6,015
棚卸資産	9,659	10,166	その他（流動）	4,010	2,999
その他（流動）	2,408	1,061	長期有利子負債	1,475	1,150
固定資産合計	12,133	13,018	その他（固定）	4,610	4,689
繰延資産	1	0	純資産	16,363	12,444
資産計	36,823	31,644	負債･純資産計	36,823	31,644

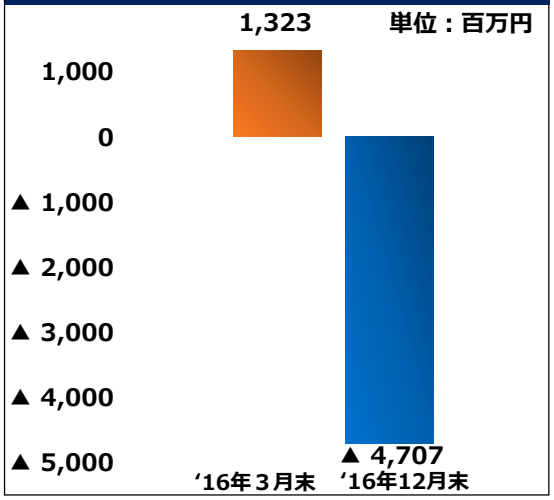
自己資本比率



固定比率



ネットキャッシュ



Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

今後の取り組みと見通し

Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

今期業績について

TABUCHI ELECTRIC

通期業績下方修正

- アミューズメント向け電源は順調に出荷開始
- しかしながら、太陽光発電の国内市場の縮小と単価下落、北米市場における立上げ遅れによる影響が大きく、売上の減少を予想
- 売上減少の予想に伴い、利益の減少を予想
- 加えて、収益の悪化に伴い繰延税金資産を取崩し

Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

今期業績について

TABUCHI ELECTRIC

単位：百万円

	上期		下期		通期	
	実績	3Q実績	4Q予想	予想	修正予想	前回予想
売上高	12,984	5,381	8,633	14,015	27,000	33,000
営業利益	▲1,096	▲1,248	▲254	▲1,503	▲2,600	0
営業利益率	▲8.4%	▲23.2%	▲2.9%	▲10.7%	▲9.6%	0.0%
経常利益	▲1,364	▲982	▲353	▲1,335	▲2,700	▲300
親会社株主に帰属する当期純利益	▲912	▲2,349	▲1,038	▲3,387	▲4,300	▲400
配当	中間 8円	―	―	期末 0円	年間計 8円	年間計 16円

注）予想の前提となる為替レートは上期1ドル105円、下期1ドル110円です。

Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

次年度に向けた対策について　－現状認識－

TABUCHI ELECTRIC

当社現状

- ✓ 収益の柱であった国内太陽光発電市場における、想定以上の縮小と価格競争
- ✓ 次代の収益の柱となるべき北米太陽光発電市場への進出の遅れ
- ✓ 変成器事業における成長の鈍化

➡ 収益性の大幅な低下が起こっている

今後の方針

- ✓ **固定費削減**による収益性の改善
- ✓ 意思決定の迅速化、収益責任の明確化のための**事業組織改革**
- ✓ 市場で勝ち抜ける**強力な製品ラインナップの拡充**

➡ 徹底した固定費削減に加え、事業組織改革と戦略商品の投入による巻き返しの実現

Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

固定費削減について

TABUCHI ELECTRIC

下記対策の実施により、固定費を徹底して削減

- 生産体制の最適化
  規模の適正化と生産体制の見直し

- 労務費等の適正化
  役員報酬カット、労務構成の見直しなど徹底したコストダウンの実現

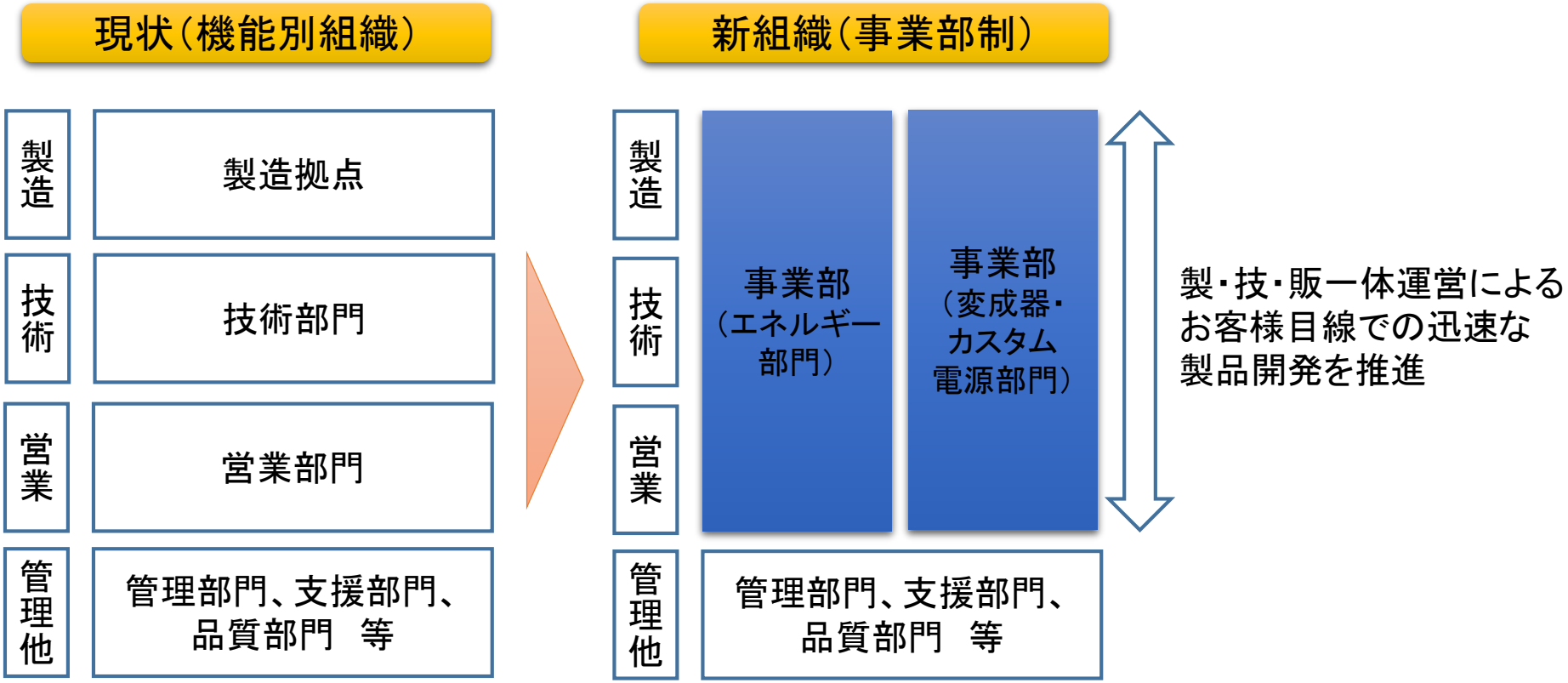
- 経費削減の徹底
  物流コストの見直し、管理可能経費の削減

Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

事業組織改革

TABUCHI ELECTRIC

事業部制組織の導入により、①迅速な意思決定、②事業別収益責任の明確化、③製・技・販一体化によるグローバル販売体制の強化を実現する



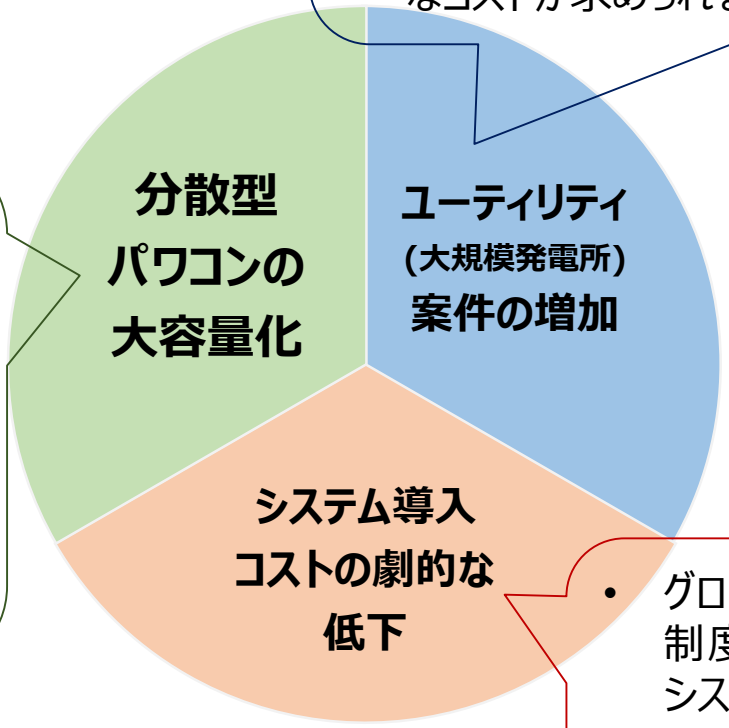
Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

大規模発電所向けグローバル太陽光発電市場と製品の変化

TABUCHI ELECTRIC

パラダイムシフトが起きている

- 成長中の新興国では政府主導のエネルギー不足解決の大規模太陽光発電システム案件が中心
- 現在最大市場の中国や北米においても投資効果の最大化を狙うため大規模案件が中心となっている
- 大規模案件では投資効率の観点から非常にシビアなコストが求められる



- リスク分散を目的として、大規模発電所においても分散型パワコンを採用するケースが増加
- 大規模発電対応、コスト効率向上のため、海外メーカ製分散型パワコンの大容量化が昨年から進展

- グローバル市場の急速な成長や入札制度の導入等により、太陽光発電システム導入コストが急激低下
- 日本市場においても海外メーカの参入により価格が顕著に下落
- 大規模案件の増加も大きな要因

Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

大規模発電所向けパワーコンディショナ製品戦略

TABUCHI ELECTRIC

高コスト競争力・大容量化製品のラインアップ投入による国内市場の巻き返しとグローバル展開の加速

現状

- 発電効率の高いフルMPPTモデルのみで展開
- 25kw及び33kwモデル

課題

フルMPPTラインアップのハイスペックモデルが売りであり、数メガ規模までの案件では有利だが、**より<u>コスト重視の大規模発電所向け製品がなかった</u>**

主戦場が大規模案件に移行しているため、ハイスペックモデルだけでは対応が困難

今後

従来のハイスペックモデルに加え、普及モデルを展開することで提案力の強化とコスト競争力強化を実現

- 機能を絞ったコスト競争力の高い製品の投入
- 大規模発電所の使用にも耐えうる大容量モデルの順次投入(50kW以上)
- 従来のハイスペック製品とのラインアップ充実による提案力の強化
- グローバルで主流となりつつある1500V入力システムへの対応も進める

Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

TABUCHI ELECTRIC

大規模発電所向けの普及モデル展開に加え、家庭用、産業用には蓄電ハイブリッドシステム及びマルチMPPTの三相パワコンを展開

発電規模

小

大

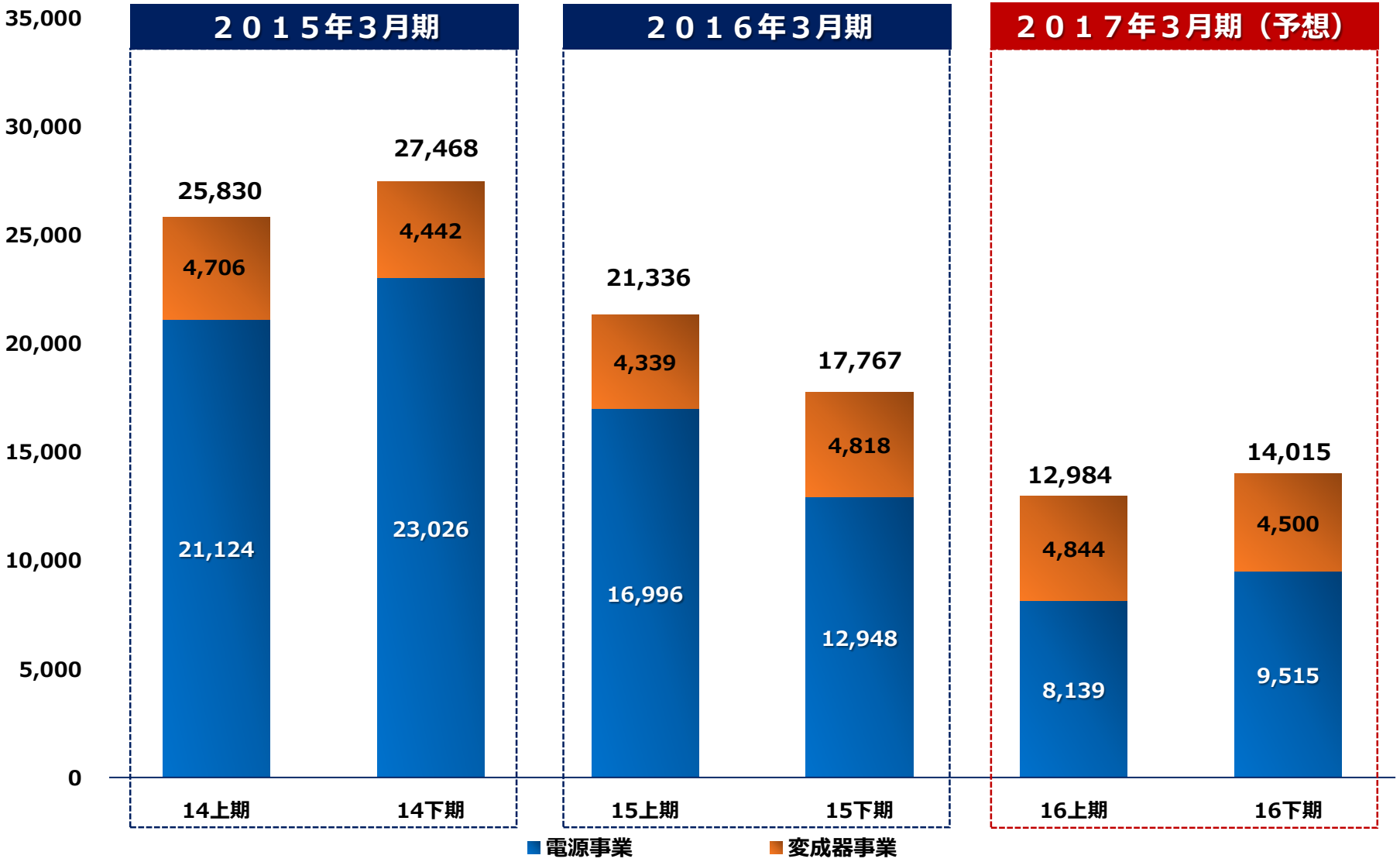
	市場動向・特徴	重点製品
家庭用	国内においては蓄電池付太陽光発電の普及が徐々に拡大 北米を含む海外においても蓄電池への関心は高まっている	**蓄電ハイブリッドシステム（EIBS）の拡販推進** 一台のパワコンで太陽光と蓄電を制御、無駄の少ない畜エネを実現
産業用	北米を中心とした海外においては工場や物流倉庫等の屋根に太陽光を設置するケースが多い	**三相25kW/33kWパワコン** マルチMPPT制御で高い実発電量を実現
大規模発電所		

Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

＜予想＞連結セグメント別売上高推移

TABUCHI ELECTRIC

単位：百万円

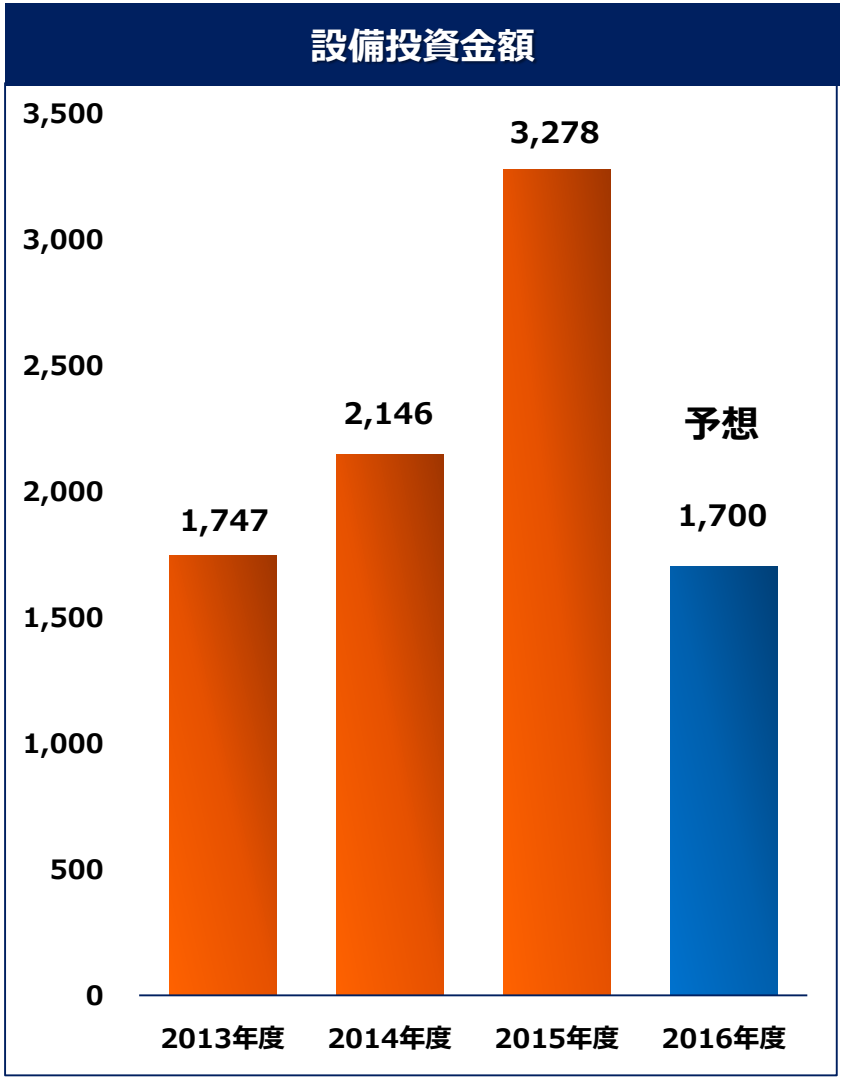


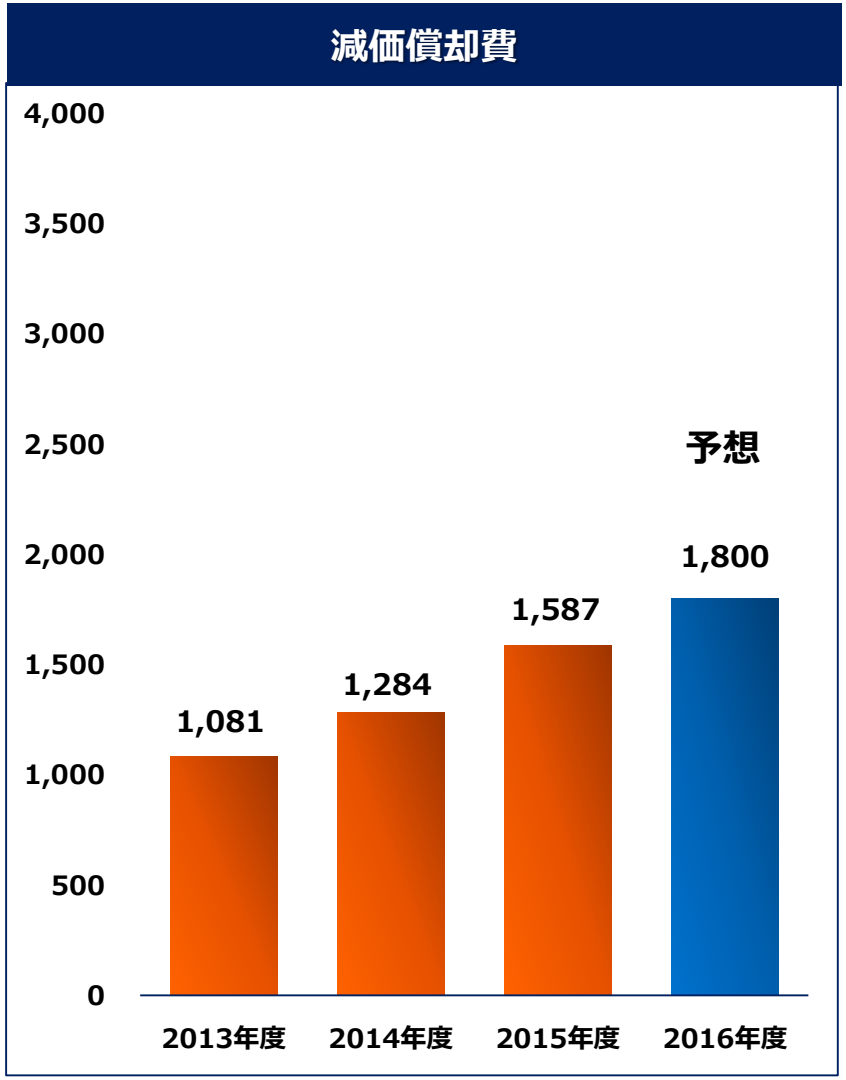
Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

＜予想＞連結設備投資金額・減価償却費

TABUCHI ELECTRIC

単位：百万円





Copyright(C) Tabuchi Electric Co., Ltd. All rights reserved.

TABUCHI ELECTRIC

当資料に記載されている、当社又はグループに関する見通し、方針、戦略等は、現時点での入手可能な情報に基づき、合理的と判断した前提のもと予測したものです。実際の業績は今後起こりうる様々な要因によって異なることがあるということをご理解ください。